

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 5 rows: 事業所番号 (0173501131), 法人名 (医療法人社団 上田病院), 事業所名 (グループホーム ゆうゆう (月)), 所在地 (室蘭市日の出町2丁目2-27), 自己評価作成日 (令和5年10月 1日) / 評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=0173501131-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

3ユニットからなるグループホームです。各ユニット吹き抜けで天窓があり明るい日差しが入り込み開放感があります。各ユニット内には階段があり昇降することで下肢筋力の予防につながっています。また1階、2階とも入口を開放しているので自由に行き来が出来るので他のユニットの入居利用者さんとも交流が出来るようになってい...

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室), 訪問調査日 (令和5年10月24日)

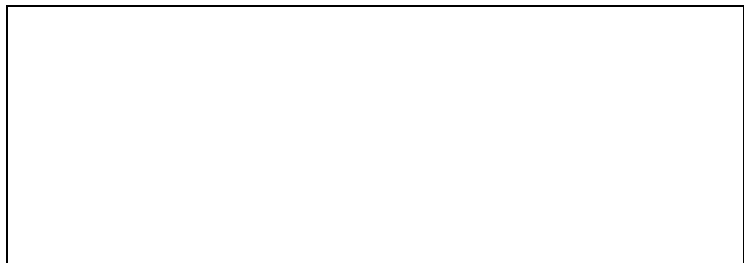


Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff/user interactions.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	申し送り時やユニット会議等の時に話し合い理念に沿ったユニット作りをしている。個人にも理念が書かれたカードを渡し、いつでも再確認が出来る様にしている。ケア理念、運営理念をファイリングし玄関に置きいつでも見れるようにしている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しお互いの行事など報告している。お祭りは今年も開催なく交流はなかったが敬老の日には町内会よりお菓子を頂きました。防災訓練には町内会の方も参加してくれて見守りや誘導などしてくれています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に1度町内会の高齢者向け健康講座へ出向きグループホームについての講話を行い認知症への理解を深めて頂いたり、介護についてわからないこと等を質問して頂きアドバイス等させて頂いている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	書面にて開催をしていたがコロナ5類移行6月より運営推進会議を開催できている。活動報告や事故報告、身体拘束廃止・虐待防止状況も報告し意見交換を行いサービス向上へ取り組んでいる		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	各種会議、研修会等は制限されていたが運営推進会議が再開され、事業所の実情やケアサービスの取り組み状況等を報告している		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束等適正化の為の指針を定めている。ユニット会議などで事例検討などを行い再確認したり、業務日誌に綴りいつでも確認できるようにしている運営推進会議では身体拘束の現状を都度報告している		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する指針を定めている。ユニット会議などで再確認したり、業務日誌に綴りいつでも確認できるようにしている 内部研修や勉強会などで学び、日頃よりスタッフ間でも話し合い防止に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を以前利用していた方がいましたが、現在該当者はいません。リーダー会議において制度について再確認しました。それをユニット会議などで学べるよう活用しました		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談時に十分な説明を行い、契約時には全て読み上げ説明を行い、理解納得を得られるよう努めている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しています 意見や苦情があった場合は速やかに施設長へ報告し、職員全員に周知を行い話し合い検討し改善に向けている		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議や申し送りなどでの職員の意見は都度管理者や施設長へ伝え、リーダー会議やユニット会議にて反映させている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得の為に研修への参加 担当業務の割り当て 個別の面談、実績に応じた昇給を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加や内部研修を行い日常のケアに活かせるよう努めている 車椅子への移乗介助など利用者さんに応じて職員同士確認し合い共有している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会への参加。コロナ5類移行からは現地にて参加し意見交換などを行いサービス向上出来る様取り組んでいる。研修はリモートにて参加することが多い		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に家族から書面や面談等で情報を収集し、本人の言葉や表情などから思いを探り安心していただけるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	連絡やコミュニケーションを密にとり、今までの生活状況や希望等についてその都度確認している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の意向を十分に聞き、状況に応じて、他のサービス利用も含めた情報を提供している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個人の気持ちを尊重しながら、本人の出来る事、やりたい事を見出し職員と一緒に行う事で共同生活の一員として共に生活し自分らしく生活できるよう支援している		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは連絡をこまめに取り合い情報を共有しコミュニケーションが取りやすい様に信頼関係を築いているよう努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ感染予防の為に面会は制限しているが、個室でビニールの仕切りをし面会を行っている。窓越しやリモート面会も随時行っている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で利用者さん同士の関係を把握し、テーブル席の配置や席を配慮している。気の合う利用者さん同士の自主性を重んじて見守りしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院などで退去する場合には受け入れ先の病院や施設と十分に連携し情報提供するなど本人や家族が安心して過せるよう配慮している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の気持ちを確認している意思の疎通が困難場合は本人の様子を観察しながら家族から情報収集している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の希望を重視している。入居前の生活歴等本人、家族から情報を収集し職員に周知し現在の暮らしにも反映されるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりその人らしく過せるよう現状を把握しケアプランにそって記録し心身の状態に応じた対応をしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族からの要望を聴きサービス担当者会議、ユニット会議等を活用し職員の意見等も情報を共有し必要な支援内容を具体的に作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	24時間日々の暮らしの様子をケアプランに添い記録している提供する支援に番号をつけ記録する際同紙に番号を記入している特別なことは特記事項に記録している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の希望に応じて対応している本人の心身の状態に変化があった時には速やかにケアプランの変更を検討している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍で地域行事は中止されている近隣の公園へ散歩に行き遊んでいる子供達の姿などをみて楽しんでいる		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を聞きかかりつけ医と連携、継続して医療が受けられる様に支援して新たに受診する際は家族や本人の希望により受診先を決めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	平日は看護職員が常勤しており日々の中で気づいたことを報告している月2回の医師の往診もあり体調不良など個々の身体状況に応じて報告し相談や受診を受けることができる		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には介護添書を提出し、入院後も変わらないケアが継続できるよう情報を提供し適宜入院先の相談員と連絡を取り身体状況を確認し退院後の生活がスムーズにできるよう努めています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居後に本人や家族から話を聞き終末期の覚書を作成し説明を行っている 主治医の指示のもと本人、家族の希望に添えるよう配慮している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急処置のマニュアルを作成している。申し送り時などに緊急時シュミレーションを行っているAED使用法など内部研修を実施している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を年2回実施(夜間・日中想定)消防立ち合いで訓練を行っている業務継続計画を作成している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の言葉遣いや対応には十分注意し一人ひとりの人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない様に対応している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	表情や言動を観察しリラックスのできる環境の中で本人の思いや希望等自己決定ができるよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れの中で一人一人の希望にそって生活をしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服は自分で選べる方には選んでもらっている2か月に1度の散髪も美容師さんと相談しながら本人の希望に沿っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事制限のある方には代替し好みの物を提供している一緒に準備ができる方はいませんが一緒に食器を拭きや片付けは一緒に行っています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事量や水分量の把握をしている個々の状況に応じた食事の形態ミキサー食、刻み食、トロミ剤使用し提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨き、義歯洗浄、口腔清拭、うがいと個々の状況に応じて支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄パターンを把握しさりげなくトイレ誘導し出来るだけトイレで排泄できるよう支援している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表にて個々の排便状態を把握し野菜ジュース・バナナ・寒天など食材の工夫や腹部マッサージなどで便秘予防に努めているイレウス既往がある方は医師や看護師に相談することもある		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の希望やその日の個々の状況に応じて声かけし入浴している 拒否がある場合は母体の大浴場への手配を行い気持ちよく入ってもらえる様にしている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの睡眠パターンを把握し安眠できるよう支援している 車椅子など自分の意思で休む事ができない方は表情や意向を確認し休息が取れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬している薬の内容の把握、誤薬が無いよう服薬前に名前、日付けを声に出して読み上げし服薬していません新しく処方された薬を服薬後は注意して様子を観察しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	コロナ感染防止からホーム内で夏祭りやお楽しみ会など行い気分転換を図っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ感染予防の為外出先にも制限がありますが市内を一周するドライブや近隣の公園等に出かける機会を設けています 大きなクルーズ船が入港したときには一緒に見に行くことができました		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の思いを大切に紛失時の事も考慮しながら家族と相談し、本人が所持するか決めていきます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	玄関に公衆電話を設置しているので希望がある時は使用を支援している 本人宛に届いた郵便物は本人に渡しています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ソファやテーブル、テレビの位置など居心地良く過ごせる様工夫している 出来るだけ気の合う仲間同士集えるように座席を考慮しています 季節の催しに合わせた飾りつけをしています室温、湿度、光などにも注意しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	いつでも自分が過ごしたい場所で過ごせるようにしています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人のなじみの家具や仏壇など希望の物を持ち込み安心して過ごせるようにしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニット内の階段昇降やユニット内廊下を散歩するなど身体機能の維持につなげているトイレやお風呂にはマークでわかりやすくしています		